

2024

5

UNZEN  
Destination  
Marketing  
Report

2024

May

雲仙市観光マーケティングレポート

一般社団法人 雲仙観光局

Unzen City Tourism Marketing Report

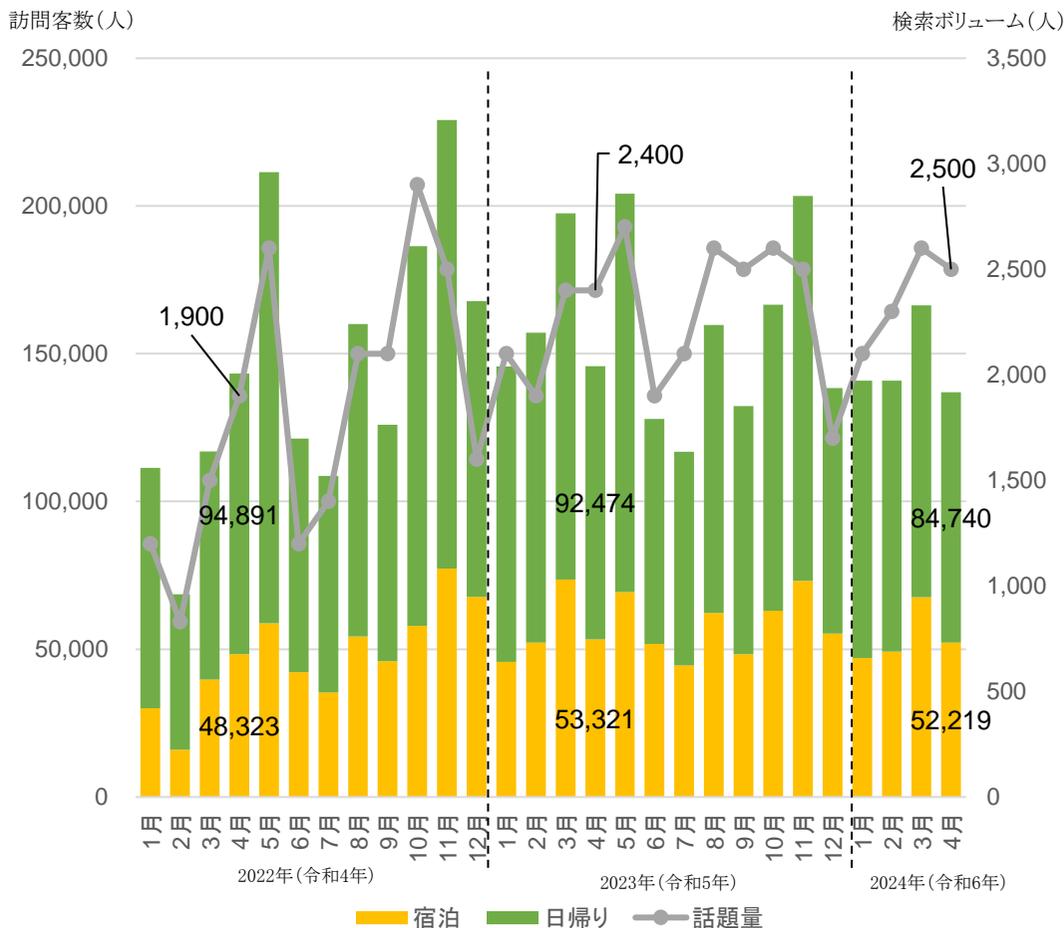
2024年5月号

UNZEN Destination Service

# 4月の雲仙市への訪問客数 136,959 人

2024年4月の訪問客数は約13.7万人と先月対比より82%と減少した。4月は一般的に春休みの3月より減少するとともに昨年は全国旅行支援実施期間中であったため、今月の減少は一定想定されるものの、宿泊者数は前年比98%とほぼ前年並みであったことはポジティブな要素であるといえる。

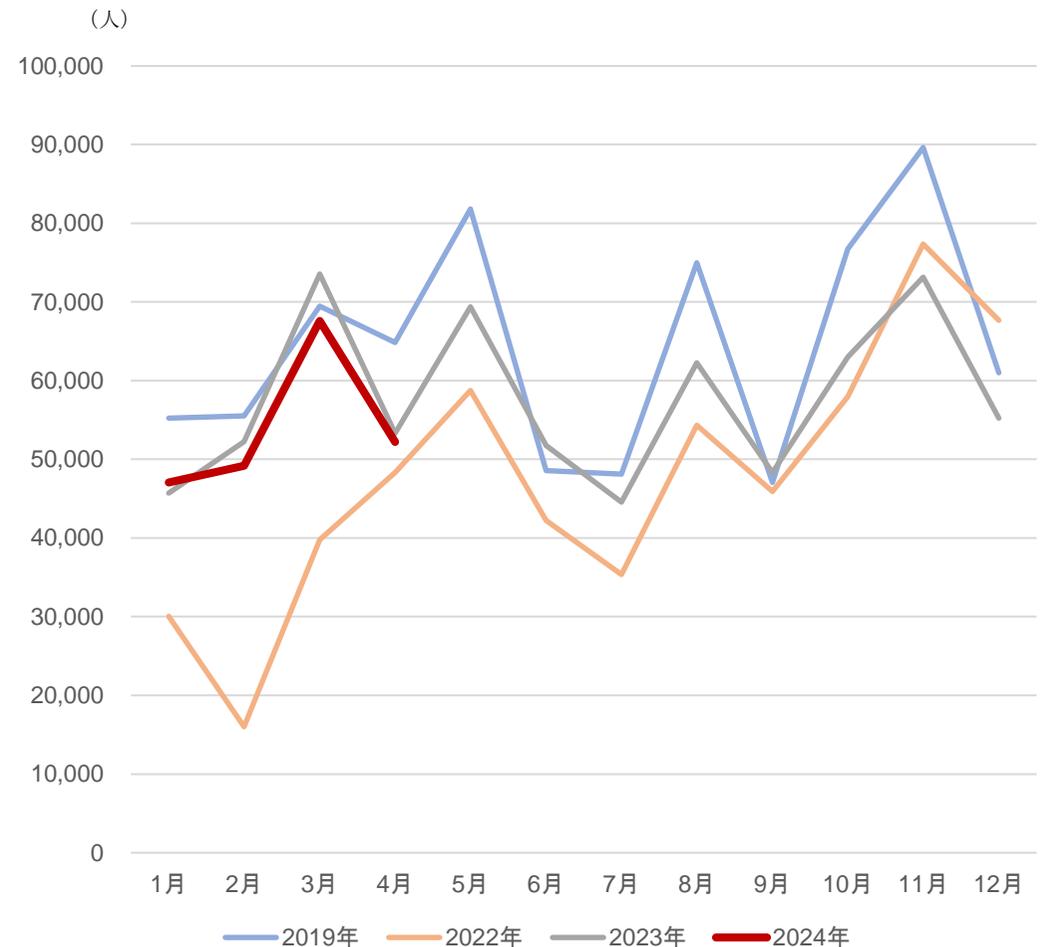
## ■訪問客数・検索ボリューム推移（2022からの推移）



	訪問客数			検索ボリューム
	日帰り	宿泊※		
先月比	82%	77%	96%	
前年同月比(2023年比)	94%	98%	104%	
コロナ前同月比(2019年比)	65%	81%	641%	

※延べ宿泊滞在数(例1名が2泊3日の場合は3名とカウント)

## ■2019年からの推移グラフ



## 「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり モデル観光地」とは？

今後のインバウンドの本格的な回復を見据え、消費額増加、地方への誘客をより重視するという観点から、訪日旅行における消費単価が高い傾向にある高付加価値旅行者の地方への誘客を観光庁が促進しています。

そしてこの度、「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり モデル観光地」として、雲仙エリア(島原半島)、阿蘇、鹿児島島の3地区が認定されました。

今回認定された3地区では、「**火山**」をテーマとして、1年かけてマスタープランを策定しました。火山の恵みを活かした食・温泉・自然体験が提供可能なほか、共生のための知恵として古くから火山信仰も育まれてきました。それらに着目し、活火山と密接に関わっている独自性、雄大な自然を活かしたアクティビティ、温泉を活用した癒しの提供が可能であり、富裕層ニーズを満たすポテンシャルを秘めています。

HPIにマスタープランを掲載しておりますので是非ご覧ください。



### 3 地域のディステーションブランディング

#### 1. 地域の潜在価値・コアゾーン

# Living with Volcanoes

## 火山とともに生きる。

そこには地球の息吹がある。人を誘う魅力がある。新しい体験がある。その土地の暮らしがある。見る、感じる、没かる、味わう、触れ合う。その土地のさまざまな魅力でもてなす 特別な火山ツーリズム。

<潜在価値となる3つの地域資源>

- サスティナブルな暮らし・食文化
- 火山との共生
- 現代に息づく山岳信仰と歴史文化
- 暮らしと一体化した自然とパノラマ景観

Map data ©2024 Google

**サスティナブルな暮らし・食文化**

火山との共生の中で生まれた知恵と工夫に満ちた持続可能な暮らしと生産。大地の恵みを受け継ぐ農水産業が生み出す至高の食を体験

Sustainable living & gastronomy

**現代に息づく山岳信仰と歴史文化**

恵みをもたらとともに噴火を繰り返してきた火山を敬い祈る山岳信仰が現代にも息づく。その共生から生まれた独自の歴史文化を体験

Mountain worship & culture

**暮らしと一体化した自然とパノラマ景観**

世界最大のカルデラに包まれた生活空間や火山の麓で形成された街並みなど、火山と一体化した自然、街並み、パノラマ景観を五感で体験

Nature & landscape

火山との共生から生まれたエリア共通の普遍的価値

本事業では、旅行者資産帯別の市場規模推計を踏まえ、中国・アジア圏のノーマル富裕層をターゲットとしています。加えて、欧米豪のウルトラ層以上についても、他地域との連携による誘客の可能性を秘め、富裕層向けのコンテンツ造成の幅出しに貢献できるため、併せてターゲットとしました。旅行者の持つ価値観については、当エリアの強みである火山と共にある文化や自然体験・食などに好奇心を持つEducated Luxury & Special Interest をターゲットとします。それぞれの層に合わせたペルソナもマスタープランに記載しておりますので、ぜひご覧ください。

今年度は、地域経営主体の構築やインタープリテーション計画策定などを通じて3エリアの地域プレイヤーへのブランディング浸透、マスタープランに基づく取組の具体化・事業展開を進めてまいります。さらに、来年度はKGI/KPI達成に向けた取組み推進やウリ・ヤド・ヒト・コネ・アシの各種事業展開等を進めていく予定です。今後の展開にもご期待ください。

本エリアが対象とするメインターゲット

本事業の対象として想定される富裕層

